

膜構造ジャーナル 2026

原稿の募集

膜構造の建築物等への利用は、従来から活用されてきたスポーツ施設などの大規模空間やテント倉庫など産業施設、駅・通路などの交通施設などに加え、膜天井としての利用や土木構造物、海洋や宇宙における利用など多方面で活用されており、更に ETFE に代表される膜構造用フィルムの利用も進む中、一層の発展が期待されています。

このような中、膜構造、膜材料等に係る研究も多方面にわたり展開されています。

一般社団法人 日本膜構造協会では、毎年度、膜構造に関する研究成果の発表の場として、また膜構造に係る研究の蓄積と一層の発展に寄与するため、膜構造ジャーナルを編集・発行するとともに、本協会ホームページにおいても公開し閲覧に供し、膜構造に関する研究資料、設計参考資料としてご活用いただいているところです。

本ジャーナルは、3部構成とし、第1部では査読を経た質の高い研究論文を掲載、第2部では査読を行わない、技術報告（設計例、計画例、デザイン例、実施例、施工報告、施工、ディテール例、維持管理例、解説等）を掲載、第3部では他誌、国際会議等で発表されたその年の膜構造関係論文のアブストラクト、資料等を掲載することとしており、第1部の研究論文については、年2回の募集を行っています。

この度「膜構造ジャーナル 2026」の原稿募集（研究論文については 2026 年第1回目）を開始しますので、建築分野に限らず、膜構造・膜材料等に係る多方面の研究成果等の応募をお待ちします。

研究論文の第1回投稿については3月末の投稿締切り後、審査を経て2026年9月頃、第2回投稿については9月末の投稿締切後、審査を経て2027年3月頃掲載（第2部とともに「年報」として公開）の予定です。

なお、本ジャーナルに投稿があり、掲載した研究論文の中より、審査のうえ特に優れたものに対しては、当協会より「論文賞」の授与を行います。

2026 年 1 月

一般社団法人 日本膜構造協会

「膜構造ジャーナル 2026」募集要項

【第1部 研究論文】

研究論文の内容： 膜構造・膜材料等に関する学術・技術についての研究論文、又は膜構造・膜材料等の利活用を前提とした関連研究に係る論文を対象とします。
なお、他のジャーナルや学会誌、国際会議の **Proceeding** 等で発表された論文等を、本ジャーナルにも掲載を希望される場合は、必ずその旨の記述を論文要旨及び本文冒頭に入れ、本ジャーナルへの投稿にあたり行った修正点を明記するとともに、引用文献にも記載してください。この場合、著作権の手続き等は著者の責任で行ってください。

使用言語： 日本語または英語

応募方法： 応募者に制限はありません。

本ジャーナルへの研究論文の投稿及び審査は、論文投稿サイト 'Easy Chair' を活用しインターネット上で行います。

投稿をご希望の場合は、**Easy Chair** でご自身のアカウントを取得して投稿を行ってください（料金はかかりません）。

⇒<https://login.easychair.org/account/signup>

執筆要領は、本協会ホームページにて公開しますのでご確認ください。

Easy Chair の投稿先は、次のとおりです。

⇒<https://easychair.org/conferences/?conf=msaj20261>

論文投稿の受付開始及び投稿締切は、次のとおりです。

第1回目投稿締切 2026年3月末（受付開始；1月15日）

第2回目投稿締切 2026年9月末を予定（詳細は後日協会ホームページにてお知らせします）

研究論文の審査： 投稿のあった研究論文については、2名の査読委員による査読を経て、本協会に設けられた論文審査委員会において採否を決定します。
審査の結果、再査読となる場合があります。ただし再査読は1回のみとし、再査読の結果、否となる場合もあります。

連続する応募の扱い： 共通する主題のもとに連続する数編を執筆する場合、表題は個々の論文内容を表現するものとし、総主題はサブタイトルとして、その1、その2などを付してください。連続した数編を応募する場合には、さきの編の査読終了後、続編が受理されます。

論文の公開： 採択された研究論文は、本協会のホームページに、「膜構造ジャーナル」として掲載し広く一般に公開いたします。

著作権： 提出された論文の内容及び著作権については、著者の責任に帰するものとし、本協会は編集出版権を有するものとします。

その他： 投稿受付開始及び締切は上記のとおりですが、審査を円滑に進めるため出来るだけ早い投稿をお願いします（早い目に事前登録項目は入力してください。）。

応募にあたり、不明な点がございましたら協会へご連絡ください。

（**Easy Chair** の利用方法等については簡単な説明書があります。）

【第2部 技術報告】

投 稿 内 容 : 膜構造・膜材料等に関し、設計例、計画例、デザイン例、施工報告、施工・ディテール例、維持管理例、解説等とします。

技術報告応募方法 : 応募者に制限はありません。
投稿をご希望の場合、(別紙) 申込み用紙に報告内容のあらましを記載し、メールまたは FAX で膜構造協会に 10 月末までに申込んでください。

技術報告については、査読は行いません。また、執筆要領は定めていませんが、研究論文に準じた体裁に修正をお願いする場合があります。

なお、技術報告の提出締切は 2026 年 12 月末とします。

公 開 : 「技術報告」についても、「研究論文」とともに(一社)日本膜構造協会のホームページに「膜構造ジャーナル」として掲載し、広く一般に公開いたします。

著 作 権 : 掲載された報告の著作権は著者の占有としますが、協会は編集出版権を持つものとします。

そ の 他 ; ご不明な点がございましたら、遠慮なく事務局へお問合せください。

【連絡先】

一般社団法人 日本膜構造協会 研究論文集担当
〒104-0041 東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル 7F
Tel : (03)6262-8911
Fax : (03)6262-8915
E-mail : ronbun@makukouzou.or.jp